

飲んでいるお薬を教えてください



はじめに

お薬の中には、**歯科治療上注意が必要なもの**や**お口の健康に影響**するものがあります。また、複数の医療機関を受診している場合は、お薬の重複や飲み合わせの確認など、を調べることも大切です。

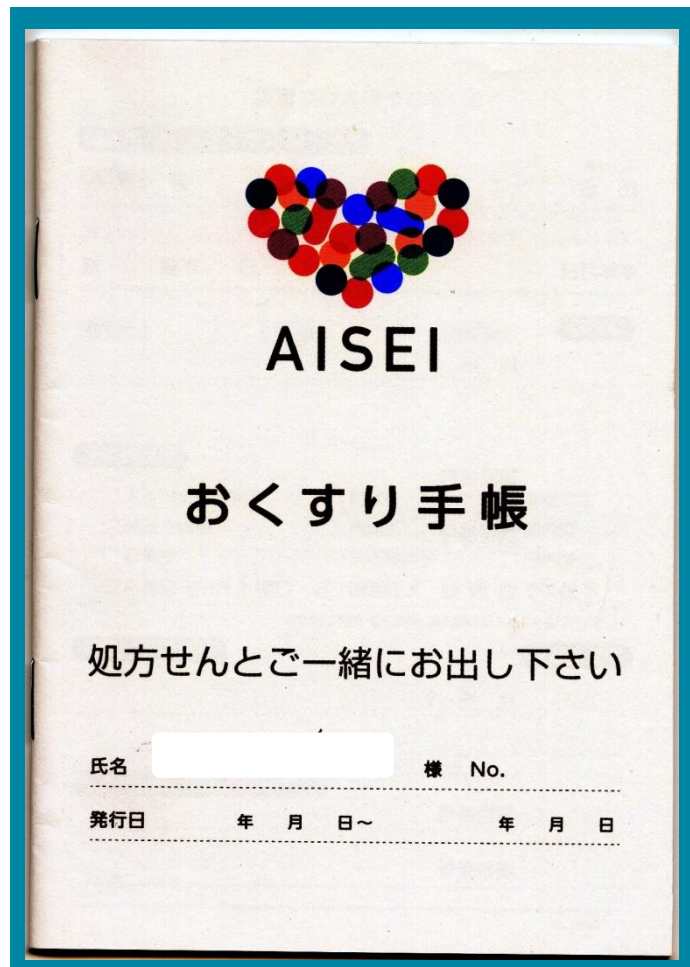
そこで今回は、歯科治療上注意が必要なお薬をご紹介します、お薬手帳や説明書の大切さを知っていただきたいと思います。

お薬手帳とお薬の説明書

お薬手帳

いつ、どこで、どんなお薬を処方してもらったかを記録しておく手帳です。

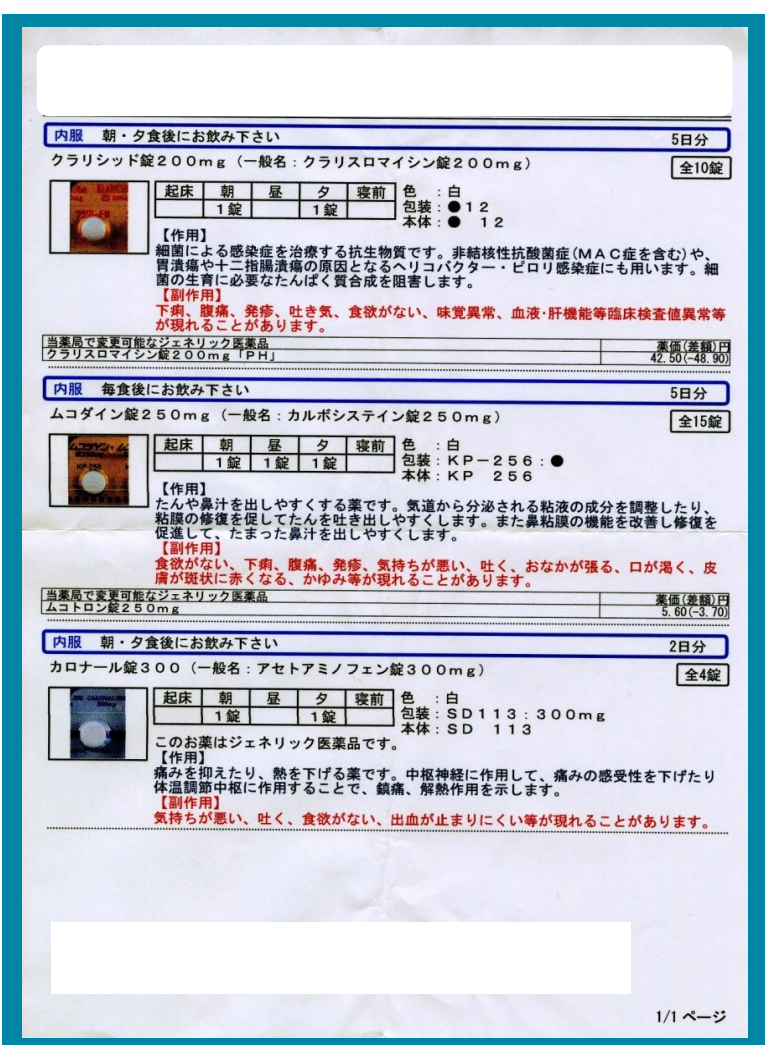
お薬の情報がすべて集約、蓄積されているため、医療者側が情報を共有することができます。



お薬の説明書

処方されたお薬について説明されたもの。

用法、用途、効能・効果、注意事項、副作用が書かれています。



お薬手帳が東日本大震災で大活躍！

東日本大震災の際、厚生労働省がお薬手帳の提示者には、医師の処方箋がなくても薬を渡す特別措置を講じたそうです。

また、お薬手帳の情報は被災地の医療活動をスムーズにしより多くの被災地の方々の診療を可能にしました。

歯科治療やお口の健康に影響を及ぼすお薬はたくさんあります。

右の表は、その一例です。安全な歯科治療を行うためには、医科の主治医と連携を図りながら進めることが必要な場合があります。

また、お口の健康を保つために、全身状態と共にお薬の服薬状況を把握し、一人ひとりに合わせた予防方法も提供しています。お薬手帳や説明書をご持参いただくと、正確な情報を知ることができます。



注意が必要なお薬の例

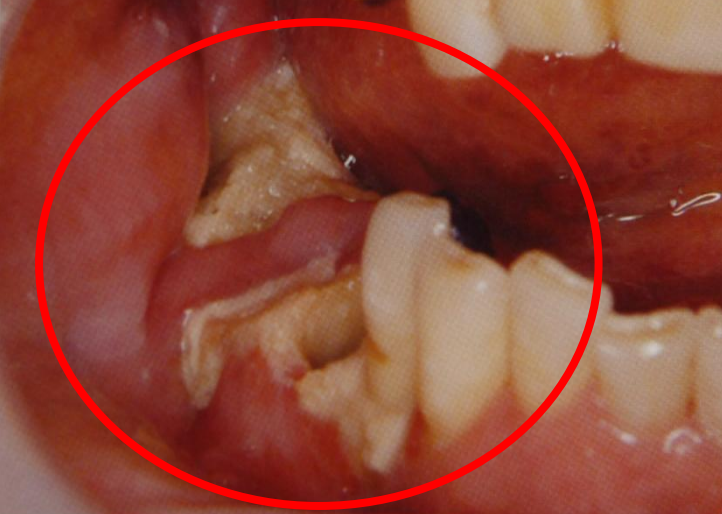
歯科治療時の注意点	代表的な商品名	解 説
薬の飲み合わせ	1. 抗てんかん薬 テグレトール® デパケン® 2. 抗精神病薬 リスパダール® セレネース®	他のお薬と相互作用(互いに働きかけ影響を及ぼすこと)を起こしやすい性質があります。飲み合わせによっては副作用が出やすくなったり、薬の作用が強くなる可能性があるため注意が必要です。
血が止まりにくい	1. 抗血栓薬 バイアスピリン® ワーファリン®	血液をサラサラにする作用があるため、出血しやすく、止血しにくくなる可能性があります。出血を伴う治療には注意が必要です。
あごの骨の壊死	1. 骨・カルシウム代謝薬 (骨粗鬆症の薬) フォサマック® ボナロン® ベネット®	顎骨壊死  拔牙等により傷ついたあごの骨がうまく修復できず壊死(組織の一部が死ぬ)する可能性があります。拔牙等を行う時には、主治医と相談の上、服薬を一時的に中止する必要があります。

写真: BPsと抗血栓薬投与患者への対応より引用

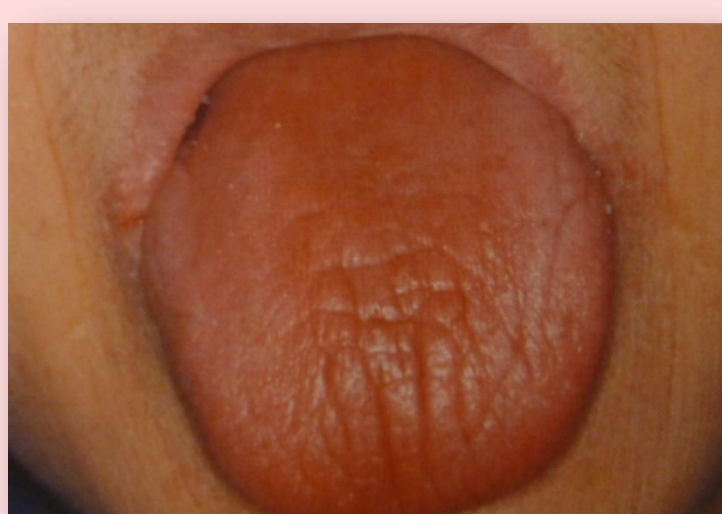
お口に現れる症状	代表的な商品名	解 説
歯肉増殖	1. 抗てんかん薬(フェニトイン) アレビアチン® ヒダントール® アクセノン® 2. 降圧薬(Ca拮抗薬) アムロジン® アダラート® ノルバスク®	歯肉増殖  薬の副作用で歯肉増殖(歯肉がもこもこ腫れる)を引き起こす場合があります。しかし、一番の原因は歯垢=プラーク(細菌の塊)であることが分かっていますので早期からの予防管理が重要です。
口腔乾燥	1. 抗てんかん薬 テグレトール® 2. 抗精神病薬 セレネース® 3. パーキンソン病治療薬 アキネトン® 4. 抗うつ薬 デパス®	口腔乾燥  薬の副作用で唾液の分泌量が減り、口腔乾燥(口が渇く)を引き起こす場合があります。口腔が乾燥していると、歯垢や歯石がつきやすく、とれにくくなるため、う蝕(むし歯)や歯周病、口臭を生じやすくなります。

写真: 治療説明図・病態・治療写真集より引用

お薬の種類や量がわずかに変化した場合も是非教えてください。

安全な歯科治療とお口の健康を守るために、**お薬手帳や説明書をご持参ください！**

